



福岡県立大学と 共に歩む会会報



平成 24 年 2 月 1 日

発行責任者 秋吉 一明
編集責任者 重藤 和巳

森山先生の「節目を励ます会」

秋吉 一明

森山先生は平成 24 年 3 月をもって大学の教職 35 年、福岡県立大学 20 年の定年退職（65 歳）の節目を迎えます。今年 1 月 20 日最終講義「熱と光を願求して」の後「節目を励ます会」が開催されました。「共に歩む会」は実行委員会の一員として参加致しました。先生のお人柄、地域との密着、地域への多大なる貢献の為、150 人の集いを持つことが出来ました。会の冒頭に当たり私は呼びかけ人、市民を代表して、以下の様な内容のあいさつを致しましたので、以上掲載致します。



本日は新年のお忙しい中、又寒い中、森山先生の「節目を励ます会」に御出席していただきまして誠にありがとう

御座います。呼びかけ人代表といたしまして一言御あいさつ申し上げます。森山先生は平成 4 年福岡県立大学開学と同時に人間社会学部の教授として任官され早くも 20 年が過ぎ、本日 2 時半よりの最終講義を終わられ、今年 3 月末を持って 65 歳の定年退職の節目を迎えられます。この節目に当たり先生を励ます会を学内、田川市民一緒になって企画した訳で御座います、又森山先生は平成 18 年の独立法人化以降田川市に居を移され、自分の使命は地域、社会貢献、国際交流だと明言され、地域に根ざしアジアに伸びる福祉系総合大学を目指し活動されてきました。又最近では、特に「山本作兵衛コレクション」のユネスコ世界記憶遺産日本初登録は皆様の誰もが知る所でございます。その様な学内、学外の素晴らしい業績が認められ、今年 4 月 1 日よりまだ発表できませんが学内の重要なポストに就任される事が決定したと聞いています、我々田川市民にとっても大変喜ばしい事と思っています。今後は健康に気を付けられ県立大学並びに田川市の発展の為今まで以上に活躍される事を期待し挨拶とさせていただきます。

謝 辞

この度は、新年ご繁忙の析にもかかわらず、万難を排して、「節目を励ます会」にご参列いただき誠にありがとうございました。お陰をもちまして田川地域内外を中心に、遠くは東京、名古屋、熊本、佐賀などよりご出席いただき 150 名の集いを持つことができました。

森山沾一教授個人の節目というだけでなく、日本初世界記憶遺産となった、山本作兵衛コレクションによる、田川・筑豊活性化の大きな節目でもあります。

平成21年、22年度と「福岡県まちづくり奨励賞」を獲得した、田川地域観光推進会議がその実績のもと、田川地域広域観光協、産・官・民・学の協働組織として発展する、千載一遇の機会が訪れています。

ここに集われた人々が「今でも良い田川・筑豊をさらに良く」すべく、人間の良いところから褒め合い、智慧と力を結集し福岡・北九州・アジアの奥座敷田川・筑豊、山本作兵衛さんが暮らした筑豊、を世界に発信していきたいものと考えております。

なお、森山研究室卒業生、ご友人の方々にもありまして、世界記憶遺産山本作兵衛の街、田川・筑豊の山紫水明・癒菅（ゆがく）の郷を持ち帰り、広めて頂くことをお願い申し上げます。

皆様方のますますのご繁栄とご健勝を祈念いたしますとともに、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。



2012（平成24）年1月吉日

「節目を励ます会」実行委員会一同

福岡県立大学と共に歩む会（秋吉一明）田川地域観光推進会議（鬼丸昌広）山本作兵衛さんを（読む）会（野村喜七郎）県立大学サッカー部を応援する会（渡邊恵美子）福岡県立大学公共社会学（文屋俊子）プロジェクト10（村上博士）田川市石炭歴史博物館（安蘇龍生）田川地域人権啓発センター（堀内忠）（社）福岡県人権研究所（西屋紀臣）熊本商科大学森山ゼミ卒業生有志（うんのまなぶ）佐賀大学森山ゼミ卒業生有志（角浩子）福岡県立大学森山ゼミ卒業生有志（松岡和利）

事務局・福岡県立大学と共に歩む会（植木康太事務局長）

山本作兵衛さんを（読む）会（川村順子）

福岡県立大学森山ゼミ卒業生有志（爪田寿子）

謝意

新年、ご多用の折にもかかわらず、万難を排して、身に余る祝賀会を催して頂き、衷心より感謝申し上げます。本日のこの慶びを胆に命じ、旧に倍して精進・熱と光を願求するつもりでございませう。今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

皆様方のますますのご繁栄とご健勝を、お祈りいたしますとともに、まだまだ寒さが厳しい折、どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

2012（平成24）年1月吉日 森山 沾一



九州交響楽団のコンサートに行きました。

유가영 (ユ・ガヨン)

2012年1月6日、飯塚で開かれる九州交響楽団のコンサートに行ってきました。韓国でもこんなコンサートは行って見たことがなかったから行く前から少しどきどきしました。

コンサートが始まるというお知らせの後、多くの楽器たちが一団となって合わさって音がすると本当にすごかったです。コンピューターや CD プレーヤーを通じて聞いた楽器の音を実際に聞いたら清くて勇壮な感じでした。

数多い曲の中で二つの曲はたくさん聞いた曲だったからもっと集中して聞くことができました。

司会進行の方が、この交響楽団は演奏会をするたびにうまくなる、この前よりも実力がもうちょっと向上したのだと言いました、この話を聞いてこの日の演奏は音がたいへん綺麗だと思いました。お互いに違う楽器たちが一団となって美しい音楽を作り上げるということが本当に驚くべきことのように感じました。バイオリン、ピアノ、チェロ、ハープ、シンバルなど以外にも多様な楽器がありました。初めて見る楽器もありました。



次にコンサートに行く機会があったら楽器名に対して分かって行ったら良いという考えがしました。

後で韓国でも機会があったらコンサートに行ってみたくないと思いませんでした。共に歩む会の皆様のおかげで日本でのまた一つ良い思い出を作ることができました。

演奏会

韓国留学生 金惠媛

待ちに待った演奏会。演奏会は初めてですごくワクワクしました。韓国でも演奏会はありませんが、あまり見る機会がなくでずっと待っていました。6 時に出発し飯塚のコスモスコモンに行きました。演奏会が始まりいろんな楽器を持っている演奏者達が出て来て最後に指揮者が出て来ました。曲の紹介をした後、演奏が始まりました。1 曲ずつ聞いてたら美しくきれいですごく迫力がありました。そして、演奏と共にテナーの声も一緒になりかっこよかったです。演奏会は初めてで私にとってはわすれない演奏でした。2 月 16 日に「日本フィル」の演奏会を見に行く機会をいただきましたが、本当にお楽しみで、また待つことになりました。



You・遊・マップ 編集 進捗報告

13 名の学生さんと社会人 3 名を含めた本会編集委員会が第 4 版の編集作業が山場を迎えています。150 件の調査箇所を回り、いよいよどんな体裁にするかをみんなでアイデアを出し合っています。こんな記事があったらいい、このスポットも載せて、を皆様もどしどし出してください。また、まだまだ資金不足、印刷費が足りません。

広告主の開拓をお願いします。

植木

田舎茶屋 閉店に思う。

灯が消えた。それほどの店でもない小さな店の灯が消えた。

ブロック塀を跨げば家に着く地続きの我が家。時々キンカンやミカン、カキなどをブロック越しに届けた田舎茶屋の灯が消えた。

若い頃には毎晩飲んだくれのすきっ腹を抱えて帰宅前の腹ごしらえ、食わんほうが体にいいとは酔った頭にも少しはよぎるがすきっ腹は辛抱できない。これ以上飲まなくてもいいくらい飲んでいるのに、「イモのお湯割り」と「茶そば!」。これで心より落ち着く。

時々しか遅くならなくなったものだが、八幡町から大通りを渡るころ、いつも茶屋の看板が道しるべの如く私を導いてくれていた明かりが今やない。まるで知らない町に迷い込んだような心細さと寂しさ……。

一軒のお店のありがたさを今更ながらかみしめている。ここに来ていたなじみのお客さんもそうであろうが、この頃はどうしているのだろうかと気になっている。共に歩む会での宴会や一人で来た楽しい時、さみしい時、イライラしている時など、ママさんに随分救われたものだ。今はそれも無くなった。灯台の灯が消えたような街の一角、ママさんの健康とご多幸をお祈りしながら感謝の言葉を贈らせてもらいたい。本当にお疲れ様でした、そしてありがとうございました。

報告：植木



■ 3月6日の20周年を彩る **花植え**を行います。

21回目の入学式を祝う花植えを、今年は3.6の県大20周年記念のお祝いを兼ねて早めて行います。

全員参加、よろしくをお願いします。

2月26日(日) 10:00~12:00 旧門集合



■ 第37回九州公演 **田川演奏会**

2012年2月16日(木) 午後7時開演 田川文化センター

開場時、ロビーにてウェルカムコンサートをを行います。

指揮：大友直人 ヴァイオリン：岡崎慶輔

ベートーヴェン：序曲《プロメテウスの創造物》 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》

S¥7,000 Sペア(2枚) ¥13,000 A¥6,000 Aペア(2枚) ¥11,000

学生(小・中・高生) ¥1,500 全席指定、税込

<主催> 日本フィル田川公演実行委員会《夢だせTAGAWA》電話 0947-44-6139

(財)日本フィルハーモニー交響楽団



次回定例会

日時：平成24年2月13日18時30分~

場所：伊田番田町「稚加栄」

森山先生の「節目を励ます会」実行委員会の「お疲れさん会」
を兼ねます。要 会費